

PRESS RELEASE

■内容についてのお問い合わせ

JICA 中国 独立行政法人 国際協力機構 業務第二チーム 澁谷
〒739-0046 広島県東広島市鏡山 3-3-1 ひろしま国際プラザ内
TEL:082-421-6310 FAX:082-420-8082 HP: www.jica.go.jp

全 2 枚

JICA 草の根技術協力事業 「カンボジア体育教育指導書作成支援プロジェクト」開始！ —体育を通じたカンボジアの子供たちの「人間の安全保障」を目指して—

国際協力機構（JICA）は、本年2月から、岡山県の特定非営利活動法人 ハート オブ ゴールド（有森 裕子代表（バルセロナ五輪マラソン銀メダリスト））と共同で、草の根技術協力事業*「カンボジア小学校体育科指導書作成支援プロジェクト」を開始。本事業には日本の体育教育をリードする筑波大学が支援体制を組んでおり、現地支援のため近くカンボジアへ同大学教員が短期派遣される予定。

（本事業の実施に至る背景）

ポルポト政権崩壊後のカンボジア政府は、失われた過去の遺産を取り戻し、社会的混乱に終止符を打つべく、その復興・開発に対して総合的な教育開発及び人材育成を急務とした。そして、次世代を担う青少年の健全育成を、国家の発展への最重要課題の一つであるとした。

しかしながら「体育・スポーツ教育」分野は、経済成長や貧困削減を目標とする開発援助の枠組みにおいては優先順位が低く、援助機関の掲げる支援対象項目、開発重点項目になり難い状況にあった。加えて、教育・青少年スポーツ省は、体育教育に関する計画を実施に移す上で、財政不足とそれに伴う人材不足に大きな課題を抱えている。

（本事業の目標）「指導書を用いた小学校体育科授業の実施に対する提言を行う」

（本事業の成果）

- 1.教育・青少年スポーツ省学校体育スポーツ局を中心とした体育科指導書作成委員会の強化と人材の育成が図られる。
- 2.体育科指導要領の改訂と指導書案の作成に必要な児童の体力水準、体育・スポーツ環境に関する調査データが整備される。
- 3.小学校体育科指導要領が改定され、製本後、全小学校に配布される。
- 4.新指導要領に基づいた指導書案が作成され、選抜校への導入成果に関する報告書が作成される。

(本事業の特徴)

- (1) カンボジアの戦後復興の過程で小学校体育教育への取り組みは、カンボジア教育省からも JICA をはじめとする援助機関からも取り残されてきた。本事業の実施は子供の情操を育み、健全な精神と肉体を培う体育教育の発展を支援する意味で、JICA の掲げる「人間の安全保障」の実現にも通じる。JICA にとっても、初めての体育分野での本格的な協力となる。
- (2) 本事業の実施に至る背景には、実施団体であるハートオブゴールドがこれまでに「アンコールワット国際ハーフマラソン」や「スポーツを通じた青少年・指導者育成の祭典」を通じてカンボジア体育教育関係者と築いた信頼関係がある。本事業の特徴は、学校現場の体育指導の草の根レベルのニーズに対応し、教育省関係部局を巻き込んで政策面での提言を行うことである。JICA が得意とする政策へのアプローチと NGO の持つ現場ノウハウが相互にうまく補完された本事業は、JICA 草の根技術協力の優良案件となることが期待される。

(主な協力対象地域)

カンボジア王国プノンペン及びその周辺地域

- * JICA 草の根技術協力事業とは、日本の NGO、大学、地方自治体、公益法人などの団体がこれまでに培ってきた経験・技術を活かして企画した途上国への協力活動を JICA が支援し、共同で実施する事業。 → <http://www.jica.go.jp/partner/kusanone/index.html>

※ ハートオブゴールドのホームページ <http://www.hofg.org>

プロジェクト開始にあたっての関係者打ち合わせ及びプレス発表

日時：2006年1月21日(土) 14:30-15:00

場所：筑波大学副学長室(本部棟5階)

主な出席予定者：高橋健夫(筑波大学副学長)、有森裕子(ハートオブゴールド代表)、
生井年緒(JICA 中国所長)※

※JICA 中国は、中国地方5県を管轄し、研修員受け入れ・市民参加協力事業を行う JICA の国内機関。